



県と一緒に水環境活動に取り組んでいただける仲間を募集しています！

➤ Fukushima の水に触れよう ➤

イベント企画 募集中

応募締切
令和6年
9月30日



福島県では、豊かな水環境の保全と健全な水循環の継承に向け、様々な主体による水環境活動を支援しています。

このたび、より地域に即した活動を実施するため、各流域で様々な取組をされている皆様から、県と協力して実施する活動の企画案を募集します。



【申込み・問い合わせ先】

福島県 企画調整部 復興・総合計画課 水管理担当

電話：024-521-7123

FAX：024-521-7911

Mail：tochi_mizu@pref.fukushima.lg.jp

福島県HP



※この事業により、SDGsの目標達成に近づくとともに、持続可能な社会の実現に寄与しております。

※この事業は、福島県森林環境税を活用して実施しております。

令和6年度水環境活動企画提案募集の御案内

1 趣旨・目的

福島県では、豊かな水環境の保全と健全な水循環の継承に向け、様々な主体による水環境活動を支援しています。

このたび、より地域に即した活動を実施するため、各流域で様々な取組をされている皆様から、**県と協力して実施する活動の企画案を募集**します。

2 対象

福島県内で水環境活動を実施している団体
(特定非営利活動法人、ボランティア団体等の民間非営利組織に限る。)

3 条件

| | |
|------------------------------------|---|
| 企画内容 | 県内各流域の上下流及び流域間の連携や交流の機会を充実させることを目的とした水環境活動 ※事業主体は、県となります。 |
| 具体的内容 | <ul style="list-style-type: none">● 活動計画の中に、水環境保全や森林の水源かん養機能などの健全な水循環の維持や回復に関する学習内容が含まれていること。● 事業実施にあたっては、提案者自らが運営に関わること。● 提案が具体的であること。● 上下流及び流域間の連携や交流の機会の充実につながる取り組みであること。● 健全な水循環の維持、回復につながる取り組みであること。● 活動の行程や内容が、活動の後継者が育つような魅力的な取り組みであること。● 継続的な活動とする事ができる取り組みであること。 |
| 参加対象者 | 主に県内にお住まいの方 |
| 参加費 | 無料（昼食代は別途） |
| 行程 | 1日（集合から解散まで9：00～16：00）の間に完了するもの |
| 参加予定人数 | 20人～30人程度（最小催行人数20人以上） |
| 実施時期 | 6月～11月の間に実施するもの |
| 経費の見込み ※できる限り 詳細に記載願 います。 | ※県が支出する費用 貸切バス代、資料・チラシ印刷代、参加者保険加入料、会場使用料、招待講師の旅費・報償費（県規定額）、消耗品費 |

4 企画の選定

復興・総合計画課が書類審査を行い、水環境活動として実施する企画を予算の範囲内で選定します。

審査にあたっては、「3条件」を満たしていることを確認したうえで判断します。

5 提案方法等

事業計画書（別紙様式）を、下記までメール又は郵送にて提出してください。

| | |
|-----|---|
| 提出先 | 〒960-8670 福島市杉妻町2番16号 |
| | 福島県 企画調整部 復興・総合計画課 水管理担当 |
| | E-mail: tochi_mizu@pref.fukushima.lg.jp |

応募締切 令和6年9月30日(月)17時必着

事業計画書記入例→

別紙様式

<記入例（水環境活動）>

令和6年 月 日

福島県復興・総合計画課長 様

住所 ○○○○○○○○
 団体名 ○○団体
 代表者 代表 ○○ ○○

令和6年度水環境活動企画提案書

1 企画案の内容等

| | | | |
|-------|---|---|-------------------------------|
| 活動概要 | 「○○川流域森林水循環体験活動」 ・○○川の水源である○○山の植生回復体験 ・○○川下流に至る○○ダムでの特定外来生物駆除体験 | | |
| 活動行程 | 9:00出発 | ○○駐車場（貸切バスで移動） | |
| | 9:30~12:00 | ○○山にて植林活動 | |
| | 12:30~13:30 | ○○にて昼食 | |
| | 14:00~15:30 | ○○にて特定外来生物駆除体験 | |
| | 16:00到着 | ○○駐車場解散 | |
| 活動の目的 | 上下流や流域間の連携・交流 | ○○川流域の源流を守るための植生回復と、下流に至るまでの水質保全により、森林水循環の健全化を図る体験を通して、上下流の連携を学ぶ。 | |
| | 健全な水循環の維持・回復 | 植生回復体験を通じて森林保全の大切さを学ぶとともに、特定外来生物の駆除体験を通じて生態系保全による水質保全の大切さを学んでもらう。 | |
| 参加対象者 | 中通り地方の住民、企業 | 参加予定人数 | 30人 (最小催行人数20人) |
| 実施時期 | 9月下旬 | | |
| 経費の見込 | 貸切バス代 | : | 70,000円(大型バス1台) |
| | 資料・チラシ印刷代 | : | 5,000円 |
| | 参加者保険加入料 | : | 1,500円(50円×30人) |
| | 講師代 | : | 県規定により算出 |
| | 消耗品費 | : | 5,000円(軍手30双、水30本、アルコール消毒液1本) |
| | 会場使用料 | : | 5,000円(○○会議室5時間) |
| | 合計 | | 86,500円+講師代 |

6 結果の通知

「4 企画の選定」により、審査のうえ選定終了の後、随時、各応募者に対して審査結果を通知します。

7 事業の実施

選定された企画の提案者は、県と連携して事業に取り組んでいただきます。

- 企画内容は、調整させていただく場合があります。
- 継続的に活動するために、専門家等を交えた検討会を行い、今後の活動計画等を作成することも可能です。

令和6年 月 日

福島県復興・総合計画課長 様

住 所
団体名
代表者

令和6年度水環境活動企画提案書

1 企画案の内容等

| | | | |
|-------|---------------|--------|--|
| 活動概要 | | | |
| 活動行程 | | | |
| 活動の目的 | 上下流や流域間の連携・交流 | | |
| | 健全な水循環の維持・回復 | | |
| 参加対象者 | | 参加予定人数 | |
| 実施時期 | | | |
| 経費の見込 | | | |